

コロナのドライブスルー検査で考案



古田肇知事に岐阜カーテンを寄贈した松波英寿理事長(右)と広瀬宇宏執行役員＝県庁

「岐阜カーテン」県に1000枚

松波病院理事長らが贈る

羽島郡医師会会長で松波

れている。

総合病院(羽島郡笠松町)の松波英寿理事長と化学品メーカーの森六ケミカルズ(東京都)は23日、新型コロナウイルス感染が疑われる患者が車に乗ったままドライブスルー方式で検査が受けられるビニールカーテン「岐阜カーテン」千枚を県に寄贈した。

松波理事長と同社の広瀬宇宏執行役員が県庁を訪れ、2人は「官民一体となって、感染拡大を防いでいきたい」と話し、古田肇知事に目録を手渡した。古田知事は「カーテンはシンブルで画期的。大切に活用し、コロナを乗り越えていく」と感謝した。(湯浅裕作)

岐阜カーテンは、車の窓をビニールで覆い、患者との接触を避けることで、医療従事者の飛沫感染を防ぐ。松波理事長が考案し、委託を受けた同社が製造。県内のほか、全国の医療機関で約6万2千枚が活用さ